

地方創生の“これまで”と“これから”

美波町初のサテライトオフィスが設立されてから5年目を迎えた2017年。
今年の美波町では下記のような動きがありました。

2017年の地方創生関連トピックス

- 美波町小規模事業企業支援制度を活用し「肉光」オープン
- 美波町の地方創生が先駆的な実証例として衆議院予算委員会にて取り上げられる
- 美波町小規模事業企業支援制度を活用し「オモニ」オープン
- 株式会社イツリーズ・ジャパンがサテライトオフィスを設立
- 美波町内発産業振興及び地域活性化事業等提案から優秀賞4件を選出
- 株式会社スペースタイムエンジニアリングがサテライトオフィスを設立
- サテライトオフィス企業が日和佐八幡神社へHP奉納
- サテライトオフィス進出企業数県内一の17社へ(8月時点)
- 総務省より「地方版IoT推進ラボ」に選定される
- 県知事主催「わくわくトーク」にサテライトオフィス関係者が参加
- 小倉総務大臣政務官が視察訪問
- 株式会社スペースタイムエンジニアリングが総務省事業公募で選出。実証実験の実施が決定
- 美波町避難訓練にて日和佐一部地区でサテライトオフィス企業の技術を使った減災実証実験を実施
- 全国知事会優秀政策賞・デュアルスクールにて日和佐小では2例目、3例目を受け入れ
- 美波町小規模事業企業支援制度を活用し「みなみ食堂」オープン
- 総務省自治法施行70周年記念総務大臣表彰に美波町が選出される

人口減少の抑制や地域の活性化に向けて、平成27年に打ち出されたのが「美波ふるさと創造戦略」です。「みなみへの人の流れづくり」「みなみの資源を活かした仕事づくり」「みなみの子育て環境づくり」「みなみの人がつくる、個性ある住みよい地域づくり」の4つを基本目標に策定されたこの施策。

2017年6月の閣議決定「まち・ひと・しごと創生基本方針2017」において、地方創生の更なる推進が示されたことをうけ、地域課題を抱える日本各地から「先進的な地方創生のモデルケース」としてさらに注目されるようになりました。みんなが大切にする“ふるさと”である美波町の魅力を再発見し、磨きをかけて新たな価値を“創造”し、未来への扉を拓いていくために策定されたこの戦略の要は、“共創(協奏)”です。

住民の方々にご理解いただき、総参加で盛り上げていただけることを目指して、美波町は今後も地方創生に取り組んでいきます。

■住宅やオフィスとして利用できそうな物件について、下記まで情報提供をお願いいたします。

役場総務企画課 ☎77-3611

■デュアルスクール制度を使ってお盆やお正月以外のお孫さんの里帰りを実現しませんか？

ご興味がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

株式会社あわせ内デュアルスクール事務局 ☎70-5831

お知らせ

美波町の地方創生に関する新聞記事や雑誌が以下の場所でご覧いただけます！

日和佐地区：日和佐図書・資料館1階

由岐地区：由岐ふれあいホール(ぽっぽマリリン2階)

リレーコラム13

職場体験学習を とおして

日和佐中学校2年

上田 暁

今回私は「株式会社あわせ」で、二日間職場体験学習をさせていただきました。私は、日和佐で十四年間過ごしていますが、「あわせ」について詳しく知る事ができたのは、今回が初めてでした。実際に職場体験学習へ行き、職場の方たちが熱心に仕事に取り組んでいる姿を目にしました。「あわせ」では美波町をよりよくするために、地域おこしとして、さまざまな場所へ取材に行ったり、ポスターを作ったりしています。私もイツリーズ・ジャパンという会社のインタビュアーに同行させてもらいました。取材中の社長さんが「美波町はとても良いところだと言っていたのが印象的です。もっとたくさんの方が美波町を好きになってくれるよう、私は将来美波町の観光にかかわる仕事に就き、活動したいと思っています。」

次回は、(株)ブックスタンドの水口陽子さんをお願いいたします。

制作：美波ふるさと創造広報チーム

